

# 神奈川・秦野に工場移転

## レトロフィットモデル 三益が拡販対応

【横浜】三益(神奈川県伊勢原市、宇野祐二郎社長、0463・92・5551)は、神奈川県の産業集積支援事業でロボット関連産業として認定され、神奈川県秦野市に工場を移転する。総投資額は3億3000万円。

工場の移転拡張により、大型設備の合理化支援事業とレトロフィットモデルの販売を拡大する。

新工場は敷地面積約3000平方メートルに、鉄骨構造2階建て工場兼事務所棟を建設する。10月に着工し、2016年6月完成、同年8月操業開始を目指す。

同社は自動車やプラント向けのパイプ造管機を受注生産する一方、大手企業の大型設備の移設に伴うオーバーホール、メンテナンスなどの合理化支援事業を手がけている。景気回復に伴い、大手鋼管メーカーや建材メーカーから、国内外の工場の移転や集約による依頼が増え、工場が手狭になったことから新工場を建設する。

また合理化支援事業と並行して、不要になった古い機械設備を修理、改造、機能アップした造管機のレトロフィットモデルをインドや中国などに販売している。